

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年5月 10日

公表

令和6年5月15日

事業所名 ハートフルまんでんにじゅうまる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0	3	児童数が多い時は近くの公園に出かけ伸び伸びと過ごすなどの工夫をしている。	広々とした場所の確保を目指す
	2	職員の配置数は適切である	0	3	全員が資格保有者です。	一人一人に対応出来るような体制作りが課題となります
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	3	児童が教室を出入りする際は職員が見守りをしています。	教室内はフラットですが、入口に段差があり、バリアフリーとは言えません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	2		多忙の為振り返りの時間が持てない
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	1		保護者様からのご意見を真摯に受け止めて改善に努めてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1		今後は公開し、定期的に更新してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3		実施しておりませんが、必要に応じて検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	極力研修会には参加しております	今後も資質向上に努めて参ります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	1	契約時や定期的なモニタリングの際に聞き取りを行い、保護者様のニーズやお子様の状況に合わせながら計画作成を行っております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	2		一人一人の子どもたちの状況を把握して職員間で連携強化をしていきます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	2		職員体制を整えて話し合いの場が持てるようにしていきたいと思えます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	1	一人一人が楽しめるよう、マンネリ化しないように考えています	今後も一人一人に応じた内容を検討していきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1	利用人数や利用時間を考慮して、平日・休日・長期休暇とそれぞれのスケジュールを決めて活動をしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	2		時間が設けられるようにしていきたいと思えます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2		時間が設けられるようにしていきたいと思えます
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	1	6ヶ月ごとに個別支援計画に対する評価・見直しを行い、保護者様とのモニタリングを実施しております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1	2		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	0		今後も連携を図り情報共有しより良い育ちを支援します
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	3		現在、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありませんが、必要に応じて体制を整えてまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	0		保護者様や相談支援員の方からの情報が主になっていますが、今後は必要に応じて連携を取ってまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	3		これまで該当する方がいませんでしたが、今後そのようなケースがありましたら必要な情報を提供させていただきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1		今後、専門機関との連携に努めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2		外出時に、ほかのお子様と接する機会がありますが、プライバシーなどの観点からそのような場は設けておりません。今後はプライバシーなどを考慮しながら、保護者様のご意向のもと検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2	参加出来る範囲で参加しております	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	定期的なモニタリングだけでなく、送迎の際やお電話等でやり取りをさせていただき、情報の共有をしております。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2		保護者支援の研修会を終了している者もおり今後は体制を整えながら実施検討してまいります。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	1	契約やモニタリングの際にご説明させていただいております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	保護者様の気持ちに寄り添いながらご相談に応じております	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3		今後、前向きに検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	相談員さんを通して事業所全体で対応しています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	3	必要事項は口頭でお伝えしています	今後は公開し、定期的に更新してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	3	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2		現在、実施しておりません。今後個人情報やプライバシーを考慮しながら、保護者様のご意向のもと検討してまいります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2		マニュアルを策定し、職員間で共有しております。保護者様にもお伝えするよう努めてまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	2	6ヶ月に一度避難訓練を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1	虐待防止・権利擁護研修を受講し、虐待防止マニュアルを策定しており、職員間で共有をしています。	今後全職員で共有できる機会を設けていきたいと思っております
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1		現在、該当する方のご利用はありませんが、今後必要に応じて適切に対応してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0		契約時に確認をしています。これまでにアレルギーをお持ちの方のご利用はありませんが、該当する方がいる場合は、適切に対応してまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	ヒヤリハット案件が発生した場合、報告書を作成後、職員間で共有し再発防止に努めています。	